閉会挨拶

一般社団法人 ＪＡ共済総合研究所 専務理事
中島 大介

本日は長時間にわたり、オンラインと会場をつないだハイブリッド形式のセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。

令和7年度ＪＡ共済総研セミナーの閉会にあたり、一言ご挨拶申しあげます。まずは全国各地より多くの皆様にご参加いただきましたこと、心より御礼申しあげます。またご多用の中、基調講演を賜りました青柳先生、実践報告をいただいた群馬県中之条町役場の安原様、唐澤様、沼田市役所の宇敷様、木村様におかれましては、限られた時間の中で大変貴重なお話を頂戴し、改めて深く感謝申しあげます。

今回のセミナーでは「地域ぐるみの健康増進を目指して」をテーマに考えてまいりました。

ご承知のとおり、日本人の平均寿命は年々伸び続けておりますが、日常生活を自立して過ごせる健康寿命との間には依然として差があります。この差を縮めていくことが私たちにとっての喫緊の課題かと思います。国においても、厚生労働省で、健康寿命を伸ばすための「健康日本21」や、「スマート・ライフ・プロジェクト」などの推進をしております。

また、今日のセミナーでもご紹介がありましたとおり、各自治体でも様々な取組みが進められています。しかし、地域の皆様に活動が十分に浸透しているとはいえないのが実態かと思います。医療費も48兆円まで達し、社会保障費の増大に加え、家計の負担にもつながっています。

こうした状況を踏まえますと、「病気になってから治す」のではなく、やはり「病気を未然に防ぐ」ことにもっと力を入れていく必要性がこれまで以上に高まっていると認識しております。

その意味でも、今回の「歩く」という誰もが取り組める活動を軸に、地域住民の健康づくりを推進している中之条町さんや沼田市さんの今日の実践報告につきましては、私たちに多くの示唆を与えてくれたものと思います。

ＪＡグループでも、地域住民、組合員に向けた健康づくりや介護予防に取り組んでおりますが、今日のセミナーをきっかけとして、今後は自治体との連携により、ＪＡが得意とする「食」をテーマとする取組みと、今回の「健康づくり」が両輪となって、より大きな相乗効果が発揮され、広がっていくことが期待されます。

また、当研究所といたしましても、引き続き、健康増進活動に関する調査研究を進めまして、「中之条研究」の成果が地域で活かされるよう、優良事例の紹介や自治体の皆様などへのサポートにも努めてまいりますので、ご関心のある方はどうぞお気軽に当研究所までお問い合わせいただければと思います。

最後になりますが、本日のセミナーにご参加いただきました皆様に改めて深く感謝申しあげ、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。